

「小諸市学校再編基本構想（案）」に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

(1)意見募集期間

令和4年2月14日～令和4年3月14日

(2)素案の公表方法

①小諸市ホームページへの掲載

②小諸市役所（1階展示情報コーナー・2階教育委員会窓口）に閲覧用として設置

(3)募集方法

①郵送

②電子メール

③ファックス

④直接持参

2 パブリックコメントの実施結果

(1)意見等の提出者数

6名

(2)意見等の件数

23件

(3)提出方法の内訳

①郵送 0名

②電子メール 5名

③ファックス 1名

④直接持参 0名

(2)提出された意見等の概要とそれに対する小諸市教育委員会の考え方

別紙のとおり

<別紙>

No	区分	意見・質問	回答
1	計画	この案は一見妥当に思えるが、戦略がない。今後小諸市が衰退の一途をたどるという前提に立った意見だと思う。	現時点の将来推計によると小諸市だけではなく、全国的な人口減少が予測されています。将来的な学校の状況を考えるためには将来推計は非常に重要と考えております。一方で、小中一貫教育の推進による教育面での充実を図ることにより魅力ある市を目指すことも重要と考えております。
2	進め方	決定事項にまとめられている事柄に関して、今後検討の過程で変更の余地はあるのでしょうか？市議会で承認されているのでしょうか？	今回お示ししたものは学校教育審議会の答申を受け、小諸市教育委員会で検討した基本方針となります。議決したものではありません。
3	進め方	強い意思で未来を担う子どもたちのために進めていただきたい。	ご意見をいただきありがとうございます。教育委員会としても同様の考え方で進めて参ります。
4	周知	PTA の役員等へ学校再編に関する周知が十分にされているのかどうか。	学校再編に関する検討状況については、市民懇話会、市民説明会等を通じてその時々に応じて実施しております。本基本構想案に関する説明に関しては、当初学校での説明会の実施を検討しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況も鑑み動画による配信へと変更いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いた時点で市民説明会を予定しております。
5	周知	今回の改築再編が良い結果になるように学校や行政だけでなく、親や市民みんなに協力してもらい全体でもり上げてもらいたい	教育委員会としても同様の考えでおります。引き続き取り組んで参ります。
6	推計	坂の上小学区には、今分譲地がたくさん開発されていますが、見込み人数に反映されていますか？	国勢調査のデータを基に推計しております。
7	推計	小学校を統合した場合の、統合小学校・芦原中学校の5年単位での中長期的（30～50年）な児童・生徒数の推移や、	市内小中学校ごとの児童生徒数の推計を令和26年まで単年ごとに推計しております。

<別紙>

		学校教室の収容可能人員（空き状況）のシミュレーションはしているのかどうか。	
8	再編	坂の上・野岸を1校、水明・千曲を1校、東小学校・美南が丘の4校体制を模索できないでしょうか？	ご意見にある再編案も検討しましたが、「より望ましい学校の規模」をなるべく長く維持するために現再編基本構想案としました。
9	再編	小規模校は手厚く見てもらえる、学校の先生皆さんに名前を覚えてもらい、支援や指導に当たってもらえるという安心感があります。	ご意見は小規模校のメリットであると考えます。ただし、小規模校にはデメリットもありますので両方を検討し「望ましい学校の規模」を維持するために再編を進めることを基本方針としました。
10	学校施設	『新設』することばかりが検討課題ではなく、『既存の小学校を一部改修』するなどして市財政負担を軽減しつつ、ソフト面の運用を充実する方に予算を充てるという発想も必要ではないか。今後の「校地選定のための検討組織による検討」に際し、『既存の小学校を活用する』という発想も是非一考いただきたく。	ご意見の内容も含め、今後検討して参ります。
11	学校施設	教育環境の整備に何をおいても費用をかける必要があると思います。教育委員会として確固とした信念を持って、市民と協働して環境づくりに邁進して欲しいと願います。	教育委員会としても同様の考えでおります。引き続き取り組んで参ります。
12	通学方法	遠い場所に新校ができるのなら、スクールバスを十分に配置し、安心して学校に通えるようにしてほしいです。	通学の課題については教育委員会としても議論して参りました。引き続き検討して参ります。
13	通学方法	市内は坂が多く、上に向かえば向かうほど通学時間は長くなります。どうぞ、距離だけの判断は考えていただきたいと想います。	通学の課題については教育委員会としても議論して参りました。引き続き検討して参ります。
14	通学方法	徒歩で小学校2キロ 中学生3キロとし、小学生はスクールバスの運用を初期段階から検討すべき。	ご意見として承り、検討いたします。
15	通学区	小諸東中学校区との境界付近に居住する児童は、野岸小学	今後の検討課題としております。

<別紙>

		校の方が近くなるが、通学する小学校を自由に選択できるのかどうか。	
16	一貫教育	「小中連携教育を強化しながら、市内全ての小中学校で教育目標を統一し・・・」と述べられていますが、ここで述べられている教育目標とは、どのようなものを想定しているのでしょうか？	「児童生徒『一人一人』の学びを支える教育の推進」をはかる学校を実現するための目標を検討して参ります。
17	一貫教育	多様性が求められ、また小学校が複数存在する状況を考慮すれば、それぞれの地域の小学校にふさわしい目標があってしかるべきだと考えます。更に、統一しないとどんな不都合が生じるとお考えでしょうか？	子どもの育ちが学校ごとに差異が生じることがないように市全体で子どもの育ちに沿った目標を明確にしつつ、各校の目標を設定することを想定しています。
18	一貫教育	小諸市独自で教師の小中人事交流一（・水明小の6年の先生が芦原中学に人事異動する ・芦原中学の先生が水明小学校へ人事異動する・既に一部行われている小学校の教科担任制度を加速する）などといったシステムの変更により、小中の教師集団で児童・生徒の様子を現場において共有することが可能となり義務教育学校に近い実践ができるかと考えますが、いかがでしょうか？	現行制度では教員免許等もあり人事交流は難しいですが、現在実施している小中間の連携をより深める中でお互いの状況を理解する取り組みを進められるよう検討して参ります。併せて、県にも伝えて参ります。
19	跡地利用	学校再編後の跡地の利用方法には広大な敷地にいろいろな大きくなる木を植えて森を作ったらよいのではと思います。	跡地利用については、公共施設マネジメントの取り組みとして検討をして参ります。
20	特別支援	先生の数が足りなくて、現場は疲弊しています。カウンセラーさんの配置、支援の先生の配置を十分にしてください。統合の際は先生方も子供たちも保護者も環境の変化があり、大変です。十分な職員の配置をお願いします。	現場が大変な状況は承知しており、教育委員会としても独自に先生の配置を実施しております。

<別紙>

21	特別支援	小中一貫にばかり目が行きがちですが、小学校にスムーズに移行できるよう、発達の遅れがある未就学児に対して、療育の出来る幼稚園・保育園の設立も急務です。	本基本構想では触れておりませんが、幼保小連携も重要な課題と認識しております。
22	特別支援	不登校児童生徒が通える施設がありますが、保護者の送迎が必要で、通いにくいという声があります。せっかく良い機能があるので、そちらのことも検討いただきたいです。	教育支援センターのことかと思いますが、学校再編に合わせて検討して参ります。
23	特別支援	個別に対応が必要な児童生徒がとても多く、人数が多いところで切磋琢磨していくということがなかなか難しく、そのような場だと心を病むことがあります。	支援が必要な児童生徒が多くなっていることは認識しております。学校再編の際にも考慮して参ります。